

あなたは予防が必要？
**心房細動による脳梗塞
危険度チェック**

1 心房細動だと言われている

はい

2 以下の項目に当てはまるものがある

- 「心不全」だと言われている
- 「高血圧」だと言われている
- 75歳以上である
- 「糖尿病」だと言われている
- 過去に脳梗塞、脳の血管が詰まる発作を起こしたことがある

はい

気になることがあったら
お医者さんに相談してみましょう。

このチェックは、疾患の診断に代わるものではありません。
チェックの結果、異常がなくても、
気になることがあれば医療機関を受診してください。

Gage BF, et al.: JAMA 285: 2864, 2001より作成

詳しくは4～5ページをご覧ください。

知っておきたい

「心房細動」のはなし

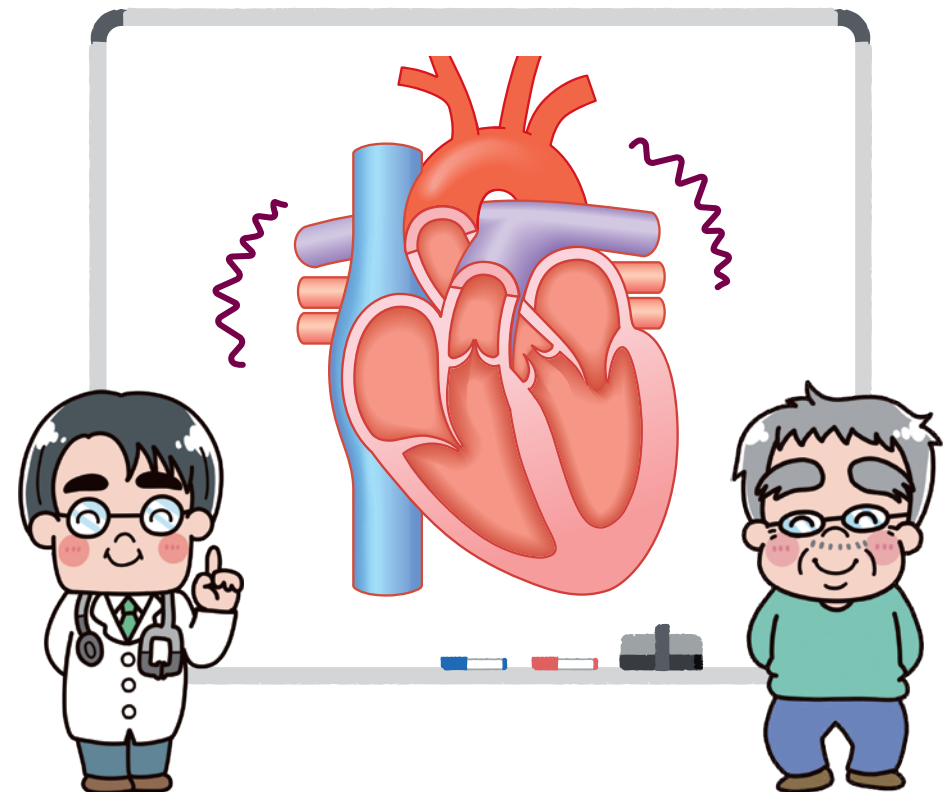
監修

日本医科大学大学院医学研究科
循環器内科学分野 大学院教授

清水 渉 先生

国立循環器病研究センター
副院長

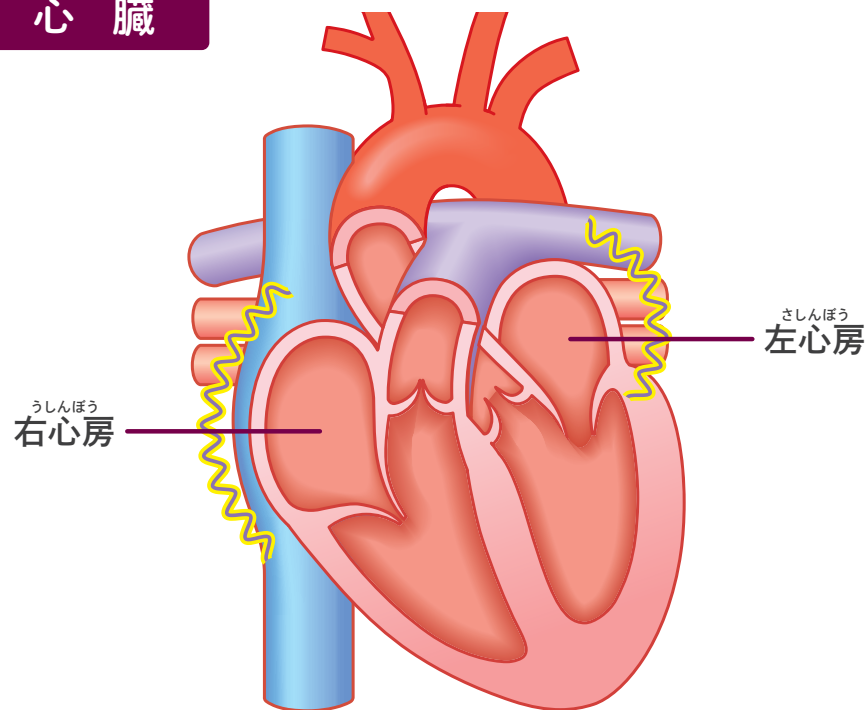
豊田 一則 先生



心房細動は、心臓の心房という部分が細かくふるえる病気です。

不整脈の一種で、動悸、めまい、胸の痛みや不快感を感じることがありますが、症状がない場合もあります。患者さんの数は年々増加していて、年齢とともになりやすい病気でもあります¹⁾。

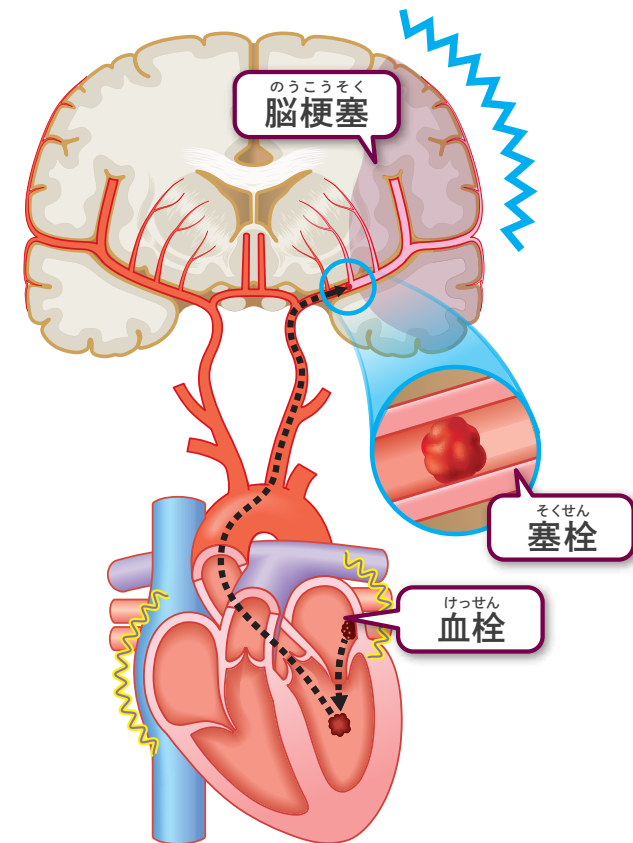
心臓



加藤尚子 他: Heart 1: 86, 2011より作成

心房細動では、脳梗塞が起こる可能性があります。

心房細動では、心房の中で血の流れが悪くなり血のかたまり(血栓)ができやすい状態になっています。できた血栓が脳に移動すると、脳の血管を詰まらせ(塞栓)、脳梗塞が起こる可能性があります²⁾。



村川裕二(編): あなたが診る心房細動, 日本医事新報社, p.5-10, 2009より作成

高血圧や糖尿病を合併していると 脳梗塞になりやすいことが わかっています。

心房細動のある人で、いくつかの要因(リスク)を持っている人は脳梗塞の危険性が高いことがわかっています。脳梗塞のなりやすさは、以下の点数(CHADS₂スコア)の合計で推定することができます³⁾。

脳梗塞になりやすい要因とその点数 (CHADS₂スコア)



75歳以上
1点



高血圧の人
1点



糖尿病の人
1点



心不全の人
1点



過去に脳梗塞や脳の血管が
つまる発作(TIA)になった人
2点

Gage BF, et al: JAMA 285: 2864, 2001

複数のリスクを持っていると、 より脳梗塞発症の危険性が 高まります。

とくに治療をせずに5年間放置した場合、CHADS₂スコアの合計が1点の人は5人に1人、2点以上の人は半数近い人が脳梗塞になる可能性があると言われていています⁴⁾。

5年間に脳梗塞などになる人数 (100人あたり)

点数の合計	人数
0点	6人
1点	19人
2~6点	42人

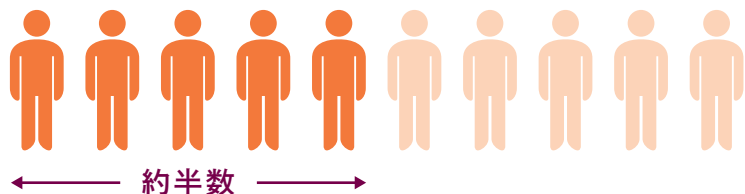
その他、心筋症の人、年齢65~74歳の人、心筋梗塞の経験がある人、大動脈や足の血管に動脈硬化がある人も脳梗塞になりやすいとされています。

Olesen, JB et al: BMJ 2011;342:d124 doi:10.1136/bmj.d124

心房細動による脳梗塞では 重い障害が残ることがあります。

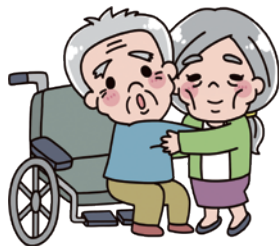
心房細動による脳梗塞は、歩行困難になったり亡くなってしまう患者さんが約半数と、重症になりやすい脳梗塞です⁵⁾。寝たきりや要介護はご家族の負担にもつながります。そのため、脳梗塞を予防することがとても大切です¹⁾。

心房細動による脳梗塞で歩行困難になる または亡くなってしまう患者さんの割合 (2013年現在)



小林祥泰(編)、竹川英宏 他(著):脳卒中データバンク2015,中山書店, p.28-29, 2015より作成

介護が必要



寝たきり



心房細動では、 おもに2つの治療をします。

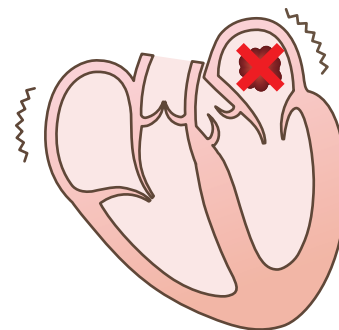
心房細動では、大きく分けて ①心臓の動きを調節する治療と ②脳梗塞の予防が行われます¹⁾。

① 心臓の動きを調節する治療¹⁾



お薬による治療やカテーテルを用いて心臓に直接行う治療があります。

② 脳梗塞の予防¹⁾



血のかたまり(血栓)をできにくくするお薬をのみます。

症状がある心房細動の場合は 心臓の動きを調節する治療を行います。

心房細動の不快な症状は、日常生活に影響をおよぼすことから、症状が問題になる場合には心臓の動きを調節する治療を行います¹⁾。

お薬による治療¹⁾

心拍数を抑えるお薬や不規則な心臓の動きを整えるお薬があります。



カテーテルを用いた治療¹⁾

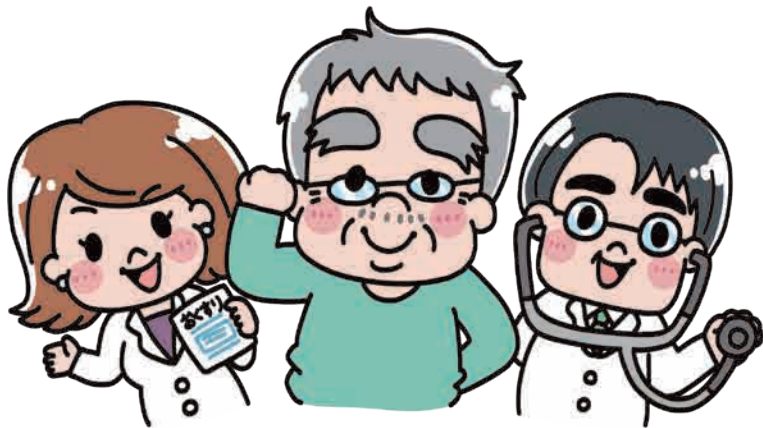
太ももなどの血管から電極カテーテルという管を入れ、心房の中の壁を焼くアブレーションという治療法があります。心房で起きている異常な動きを抑える治療です。その他、手術をする場合もあります。



脳梗塞の予防ではお薬を服用します。

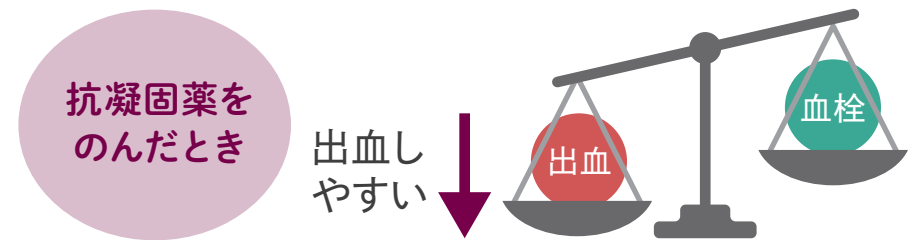
心房細動がある人の中でも、4ページに示したような脳梗塞を起こしやすいリスクを持っている場合、血を固まりにくくする「抗凝固薬」と呼ばれるお薬で脳梗塞を予防します¹⁾。

最近では、数種類のお薬が使えるようになっていきますので、医師・薬剤師の先生と相談のうえ自分に合ったお薬を選ぶことが大切です¹⁾。



抗凝固薬をのむときの注意

「抗凝固薬」は血栓ができるのを予防しますが、出血したときに血が止まりにくくなります。日常生活ではケガをしないように注意しましょう。



また、お薬は決められた用法でのまないと、脳梗塞の予防がうまくいかないことがある⁶⁾ため、忘れずに決められた量をきちんとのみましょう。



1)日本循環器学会/日本不整脈心電学会合同ガイドライン「不整脈薬物治療ガイドライン(2020年改訂版)」,
http://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2020/01/JCS2020_Ono.pdf(2022年4月閲覧)
2)村川裕二(編):あなたが診る心房細動,日本医事新報社, p.5-10, 2009
3)Gage BF, et al: JAMA 285: 2864, 2001

4) Olesen, JB et al: BMJ 2011;342:d124 doi:10.1136/bmj.d124
5) 小林祥泰(編)、竹川英宏 他(著):脳卒中データバンク2015, 中山書店, p.28-29, 2015
6) Hurtado-Navarro I, et al: Front Pharmacol 9: 1353, 2018